

# 第5回 安全衛生 フォトコンクール

Safety and Health  
Photo Contest

入賞作品

中災防では、平成20年間標語「リスクの発見 すばやい対応 みんなで築こう 無災害」をテーマに、第5回安全衛生フォトコンクールの作品を公募しました。

おかげ様をもちまして、働く人の安全・健康・快適を願い、日々、活き活きと職場の安全衛生に取り組む人々の姿をとらえた178点の力作が寄せられました。多数のご応募ありがとうございました。

厳正な審査の結果、以下の方が入賞されました。おめでとうございます。

(順不同、敬称略)

金賞

金賞作品【1点】



危険を体感  
「安全帯はその位置で  
いいかな？」

川崎 信之

東京都 / 電力通信工事研究会

作者より

当会では「危険を自ら知り、見て体感する」危険体感安全研修を実施しています。災害防止はおしつけのやり方だけでなく危険を体感して安全を知ってこそ災害防止の一步と位置づけています。この写真は安全帯を装着し、「自重を知り、ベルトの装着位置を理解してもらうために実施している研修風景です。装着位置によって体にかかる荷重の違いを自ら体感しています。

審査委員総評

労働災害やヒヤリハットを身近に経験したことがない若い世代の人たちに、安全に対する理解を促すための様々な取り組みが各企業で模索される中、効果的な取り組みのひとつとして着目されている「危険体感型の安全教育」ならではの臨場感あふれる一コマ。高所作業時における、安全帯の正しい装着方法の重要性が強く印象づけられる作品である。